

講義科目 : 差別と人権	単位数 : 2
担当 : 伊藤 信也	学習形態 : 選択科目

講義の内容・方法および到達目標

- この科目では、基本的人権と差別の問題を考えていきます。人権とは何か、人権はなぜ重要なのか、私たちの人権の実態はどのようになっているのか、その歴史と現状について考えていきます。基本的人権という考え方は、フランス人権宣言などにおいて明文化されてきましたが、こうした人権の歴史的な形成の経過を学ぶとともに、その内容の発展を知ることでも人権の普遍的な意味を考えたいと思います。
- また、テーマ別に現代の差別問題についても考えていきます。どのテーマから取り上げるかは講義開始時にお知らせしますが、人種差別、性差別、国籍差別、部落差別、「障害者」差別など、世界と日本の様々な差別問題を取り上げる予定です。
- この科目の到達目標は、「デマ」や「フェイクニュース」に流されず、正確な知識と根拠を知って人権や差別問題と向き合えることとします。
- 講義は可能な限り工夫して進めます。対面授業の場合はドキュメンタリー・ビデオの上映など、映像による資料を随時使用していきますが、遠隔授業になった場合、他の方法でバリエーションを検討したいと思います。

授業計画

- 第1回現代社会と人権：授業概説
- 第2回近代的人権の成立の歴史～人権の歴史（1）～
- 第3回イギリスの人権思想～人権の歴史（2）～
- 第4回近代的人権の特徴と課題～人権の歴史（3）～
- 第5回近代的人権の問題点～人権の歴史（4）～
- 第6回人権の拡張の過程～人権の歴史（5）～
- 第7回基本的人権と日本国憲法～人権の歴史（6）～
- 第8回現代の人権の諸問題（前半のまとめ）
- 第9回現代の差別問題（1）～人種差別の歴史と現在～
- 第10回現代の差別問題（2）～「障害者」差別と優生思想～
- 第11回現代の差別問題（3）～「性差別」から「ジェンダー平等」へ～
- 第12回現代の差別問題（4）～在日外国人差別と「ヘイトスピーチ」規制～
- 第13回現代の差別問題（5）～「部落」差別問題の構造～
- 第14回現代の差別問題（6）～感染症と差別問題～
- 第15回21世紀の人権問題への視点を考える

教材・テキスト・参考文献等

- ・テキストは使用しません（毎回プリントを配布します）。必要な資料等はプリントで配布します。その他、参考文献は講義中に提示します。

成績評価方法

- ・1. 講義中に実施する「ミニレポート」（意見提出。配点は約40%）、2. 講義の最終日に提出する「期末レポート」（配点は約60%）です。

その他

- 第1週に詳細な「授業計画」ならびに「成績評価方法」、講師への問合せ方法を告知します。履修予定者は最初の週にできる限り出席しておいて下さい。
- 現代の社会問題に関心の高い受講生の履修を求めます。